

在庫最適化のための データ分析入門セミナー

対象

- SCM (サプライチェーンマネジメント) 担当者
- ロジスティクス・在庫管理担当者 ● データ分析担当者
- AIやデータサイエンスに関心のあるマネージャーやリーダー
- ビジネス戦略・企画部門のメンバー

ねらい

- ・ AI技術を活用した需要予測と在庫最適化の理解を深める。
- ・ AI技術の利点と具体的な活用方法を理解する。
- ・ AIを用いた在庫管理の最新トレンドや事例を学ぶ。
- ・ データ駆動型の意思決定についての理解を深める。
- ・ AIを活用した在庫最適化の導入に向けたアクションプランを検討する。

POINT

- POINT 1 AIとデータ分析の基礎：AIとは何か、どのようにデータ分析に活用できるのかを理解するための基礎知識を学ぶ。
- POINT 2 需要予測の重要性：正確な需要予測がビジネスにどのように影響するのか、そしてAIがどのようにその精度を高めるのかについて理解する。
- POINT 3 AIを用いた在庫最適化：AIがどのように在庫管理を最適化し、ビジネスの効率化と利益増大に貢献するかを学ぶ。
- POINT 4 実例と事例研究：AIを活用した需要予測と在庫最適化の成功事例を学び、具体的な応用方法を理解する。
- POINT 5 導入の検討：AI技術を自社の在庫管理に導入するための具体的なステップと、その際に注意すべきポイントを理解する。

開催日時

2024年 6月26日(水)

2024年 11月13日(水)

[時間] 9:45 ~ 16:45

形式

Zoomによるオンラインセミナー

講師 (敬称略)

アポロ株式会社 講師陣

髙田 洸一

博士課程卒業後、日本学術振興会のポスドクとして、数学の研究者を2年ほどやったのちに、大手コンサルティングファームにて、AIモデル構築などの案件を4年ほど経験。これまで多くかかわってきた業界としては、卸売業界、エネルギー業界など。

参加料(税込)

●法人会員…62,700円/1名

●会員外…74,800円/1名

プログラム

[時間] 9:45 ~ 16:45 (昼食時間 12:00 ~ 13:00)

- ・ 大量生産・大量販売が行われる物品の需要予測方法・在庫最適化手順を座学理解する。
- ・ AIベースで、上記手順を演習で体験する中で、より深く理解する。
- ・ ワークショップの中では、実務を想定した需要予測・在庫最適化テーマに対して、どのような分析、データ、システム、組織等が必要かを想起するワークショップを行う中で、自社内での実務に落とし込む方法を考えてもらう。

はじめに

- ・ 本セミナーの目的、伝えたい事
- ・ アイスブレイク (自己紹介など)

1. 在庫最適化におけるデータ活用

- ・ データ活用の発展 ・ 在庫最適化の最新事例

2. データ活用におけるデータ分析・AI技術

- ・ 需要を予測する技術 ・ 最適発注量を予測する技術

3. データ分析・AI活用の推進方法

- ・ 一般的な進め方の全体像
- ・ 貴社に最適な進め方へ調整するためのポイント

4. 需要予測 AI の検討 (演習①)

- ・ 標準的な需要予測 AI の事例説明
- ・ 貴社業務に合った AI ヘカスタマイズ検討
- ・ 検討案の発表と講師からの実現アドバイス

5. 発注最適化 AI の検討 (演習②)

- ・ 標準的な発注最適化 AI の事例説明
- ・ 貴社業務に合った AI ヘカスタマイズ検討
- ・ 検討案の発表と講師からの実現アドバイス

クロージング

※プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

